

いじめ防止学習

7月3日（月）、4日（火）、劇団サンコファのみなさんを招き、4年生がいじめ防止学習を行いました。

劇団の方が子どもたちと共にグループに分かれて、まずは話しやすい雰囲気づくりを行いました。そして本題に入り、嫌な思いをした経験を話して劇化していただき、それについて意見交換を行う活動を行います。

嫌な思い出を話すのは決して楽しいことではありませんが、つらかったことについて話をして、それを聞いてもらうということが、当人にとっては心が軽くなったり前を向くきっかけになったりします。そして、それを表現した劇を見た人たちから意見や感想を言ってもらい共感してもらうことで、「わかってもらえた」という安心感につながります。

人によって感じ方や考え方が違う中で、トラブルが起こり嫌な思いが生じてしまうのは避けようがないかもしれません。その時に、どのように行動するか、どのように解決を図るかについて、ロールプレイのようにして具体的な場面について意見交換して学び合い、ひいてはいじめを防止する力を身に付けられるようにと、毎年行っている学習です。

4年生からは、いじめにあたるような行動を指摘したり注意したりする発言について、言っている内容は間違っていないくても言い方には気を付けなくてはいけないことや、言われた方は素直に受け止めるべき、といった発言が出されていました。自分たちの日頃の経験や思いに根差した発言であると思います。

「いじめはしない、させない、ゆるさない」という約束を掲げていますが、なかなか根絶することは難しいと言わざるを得ません。だからこそこれからもくり返し子どもたちに呼びかけて、いじめをなくす努力を続けていきたいと思います。そして「たのしいわたしの学校」をつくっていききたいと思います。



学校の近くの電線に、家族らしき数羽のツバメがかしましく鳴きながらとまっています。そろそろ巣立ちでしょうか。そして遠い国へと渡っていくのでしょうか。

